

大和郡山 防災ニュース 元. 9月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

日頃からの **短時間豪雨に備えて** **生活道路の道路側溝の泥上げやゴミ拾いにご協力ください！**

去る8月19日の午後5時前後から急激に強まった夕立の一時雨は、みるみる間に市内各地に道路冠水を引き起こし、深いところでは水深30cmに達しました。この影響で、建物の地下室や近鉄線のガード下道路が浸水し、乗用車1台が水没したことは先月のニュースでもお伝えしました。この日、市の水防担当部署では手分けして、浸水の通報があった箇所や水の浸きやすい場所を回り、土のうの配置の他、可能な処置をするとともに浸水原因を探りましたが、その際、排水管から写真のようなビニールのかたまりとベニヤ板が出てきました。



上: 排水溝に詰まったベニヤ板
下: 詰まっていたビニールとベニヤ板

このようなものが詰まってしまうと、大雨時に適切な排水ができず、浸水災害の原因になりますので、不用意に捨てたり、放置したりせず、適切に保管または処分してください。また、水路に泥が堆積したり、そこから草木などが繁茂すると流下能力が落ちてしまいます。当日は、河川ではまだ余裕があるのに、道路冠水が発生したところもありました。街中の細かな水路、側溝の維持管理について市民の皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

地区防災計画って何？

平成23年3月の東日本大震災など、各地で発生する大災害が契機となり、地域における絆の大切さや、自発的な自助・共助による防災活動の重要性が改めて認識されました。このような状況を踏まえて、平成25年に災害対策基本法が改正され、市町村の中の一定の地区内の住民自らが中心となって、市と協議しながら防災活動を決めることができる「地区防災計画」制度が創設されました。

この「地区防災計画」は、地区内の住民の避難や安否確認、避難所の運営などの体制や手順などを、その地区の地域性や地形、施設の状

況などを考慮しながら、住民自らが行政との協議の中で考え、決めていくものです。他の市町村の状況を見ていると、地区防災計画は、地域の中心で避難所でもある「小学校区」単位でつくられていることが多いようです。



市では、今年の筒井小学校を皮切りに、小学校区、自治連合会単位で住民の皆さんとともに考える防災訓練を実施していますが、今後はこの枠組みを活かしながら、将来的に地区防災計画へと発展していけたらと考えています。本市の近隣では、生駒市のあすか野地区などが地区防災計画をつくっていますが、インターネット環境のある方は、本市の「筒井小学校避難所運営マニュアル」と見比べていただけたらと思います。



なお、8月号でもお知らせした「安全安心の城下まちづくり市民大会」の防災講演会（室崎 益輝先生講演・10月18日開催）でも、関連性のある話が聞けるかと思えます。ご興味のある方はぜひお越しいただきますようご案内いたします。

消防団庫の建て替えが進んでいます

市民ボランティアの消防団員が市内の安全、安心を担っている消防団（19分団）。その拠点である消防団庫のうち、耐震化されていない7つの分団の建て替え工事が平成28年度から進められています。28年度は今国府昭和工業団地内の今国府分団、29年度は県道矢田寺線富雄橋東詰堤防上の外川分団、30年度は郡山公園住宅西側茶町天満宮隣接の第二分団が既に完成して、令和元年度は現在箕山町旧南郡山公民



昨年12月完成した第二分団庫
(大和郡山市茶町)

館跡で第四分団の建て替え工事を進めています。

この建て替えにあたっては、団庫は原則2階建て、1階部分が消防ポンプ車納庫、2階部分を詰所とし、敷地にはできるだけ空きスペースを取って、将来的には、いざ災害の時、地域の土木建築電気業者や技能経験者など防災に対応する能力のある方々を分団庫に結集する体制づくりを進め、その際の本部スペースにしたいと考えています。



大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース

検索



消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

大和郡山市消防団へようこそ

検索



発行人 市役所市民安全課